



発行日：平成21年5月23日

発行所：千葉県訪問看護ステーション連絡協議会

発行責任者：副会長 長谷川 芳代・地主 貴美恵

第12号

INDEX

- ステーションMAP・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 前会長・副会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 地区部会 役員一覧・・・・・・・・・・ 2
- ステーション紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3~8
姉ヶ崎訪問看護ステーション/訪問看護ステーションふさ/
亀田訪問看護センター/松尾訪問看護ステーション/
銚子訪問看護ステーションNEW/なごみ訪問看護ステーション/
鎌取訪問看護ステーション
- ♪ちよっとひと息♪さくらギャラリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 村田尚美さんプロフィール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 投稿用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

■ステーションMAP■

*今回の広報に記事を投稿して下さったステーションのMAPです。



前会長挨拶

私事にて訪問看護ステーションを平成21年3月31日で退職することとなりました。皆様には大変ご迷惑をおかけすることは重々承知しておりますが、訪問看護ステーション連絡協議会の会長職も辞任いたします。新会長就任後、新体制のもとで、千葉の訪問看護の更なる躍進を心よりお祈りいたします。

前会長 佐野 袈裟美

副会長挨拶

会長辞任を受け、理事の皆様のご協力をいただきながら、総会の準備にあたることとなりました。介護保険改正もあり、会員の皆様も大変なことと思います。総会にて会長を選出していただき、新会長を中心に役員一同新たな気持ちで頑張りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長 長谷川 芳代・地主 貴美恵

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 地区部会 役員一覧

地区名	会長	副会長
千葉市	鎌取訪問看護ステーション 小宮山 日登美	花見川訪問看護ステーション 唐木 明美
		訪問看護ステーションあすか 石橋 美知恵
東葛北部	はみんぐ訪問看護ステーション 真貝 和江	あい訪問看護ステーション 井上 悦子
東葛南部	新八千代訪問看護ステーション 吉田 裕香子	なかざわ訪問看護ステーション 大桐 四季子
印旛・山武	訪問看護ステーション「いちご」 木所 律子	訪問看護ステーション杜の街 青木 志津江
香取・海匝	多古町訪問看護ステーション 大里 光枝	おみがわ訪問看護ステーション 大塚 和子
夷隅・長生・市原	姉ヶ崎訪問看護ステーション 前田 智子	やすらぎの郷訪問看護ステーション 富田 有美
安房・君津	訪問看護ステーションそよかぜ 小宮 孝子	さつき台訪問看護ステーション 相原 鶴代

*地区部会の役員が決まりました。これから 2 年間で、よろしくお願いいたします。

夷隅・長生・市原地区

姉ヶ崎訪問看護ステーション 前田 智子

姉ヶ崎訪問看護ステーションは病院を母体に老健施設・居宅介護支援センターを併設しています。開設は平成4年、当時私は訪問看護なんてものも知らずに子育てに明け暮れ、楽しい日々をすごしていました。子供の成長とともに、寂しさと焦燥感を感じ、興味本位でステーションのパート看護師となり、あれよあれよという間に所長!?

知識も技術も経験も皆より少ない私が何とかやってこられているのはスタッフ（看護師3名・OT1名・事務1名）と病院のおかげ。それと、利用者さん、そのご家族との時間かなあ。めげてしまう事もあるけど、何故か利用者宅で元気をもらっていることしばしば。パワーを吸い取っているのでは？



なりたての頃、訪問時頭から流血していた独居のNさん、熱発しているのに家族は夜まで帰宅しない頸損利用者さん等、自分ができることをしていくけど、後から心配で・・・訪問看護師なんて辞めたーい!!!でも、思い出話を聞きながらの死後処置や、看護師さんが来てくれるから家に居られる、なーんて言われて続けてきてしまった。それに、利用者さんの入院中の顔つきと在宅での顔って全く違いますよね。病状がよくなって退院したわけではないのに・・・。癌末期、治療希望せず寝たきりのまま退院してきたAさんの希望は「庭の木に登りたい（剪定）」一年後に目標達成しました。そんなパワーが在宅にはつまっているのですよね。

利用者さんに「大丈夫？」の連発だった私から「大丈夫ですよ」とも言えるようになったのは少し成長したのだろうか？まだまだ「ひゃあー！どうしよう？」って思うことも多く、病院総師長代理や、地区部会の他の所長さん達に相談にのってもらうことができ、本当に助かっています（地区部会っていいですよ。参加してくださいね）。クツリしているとお菓子を恵んでくれる、「頑張るぞー」と気合をいれると「おー！」と答えてくれるスタッフの皆に感謝。一人では何もできない未熟ものですがこれから少しずつ力をつけていきます。

東葛北部地区

訪問看護ステーションふさは 佐々木 美保

私たち訪問看護ステーションふさは、我孫子市布佐にあり、東葛北部に位置し、手賀沼と利根川に挟まれた、茨城県との県境にあります。我孫子市は一部ベッドタウン化が進み人口が増えています。布佐周辺は水田もある、農業地域で、土手道を走ると、田圃や稲穂の香りが鼻をくすぐりとても心地の良いところですよ。我孫子市の中でも高齢者が多く、独居や高齢者世帯による老老介護の問題を抱えている地域です。

隣接している 印西市、柏市、取手市、利根町の地域を訪問しています。

母体は、医療法人「創造会」で、病院と老人保健施設に併設した環境にあります。訪問診療、居宅支援事業所と共に訪問看護ステーションがあり、在宅センターとして連携のとれたサービス提供を心がけています。

当ステーションは、看護師5名と病院との兼務で理学療法士2名が活動しています。スタッフは訪問看護歴3～11年と、経験を活かした幅広い視野を持ってサービスを提供しています。医療と介護両面「明るく温かで安心感いっぱい在宅看護」をモットーに日々活動しています。これからも、地域の方々に信頼され、求められるよう努めていきたいと思えます。



安房・君津地区

亀田訪問看護センター〈鴨川〉 滝口 美智子

私が訪問看護に従事して2年経った。今回、原稿の依頼を受けた機に、この2年間を振り返るとともに、2年目の目線で亀田訪問看護センター（以下、当センター）を紹介したいと思います。

当センターは、母体病院である医療法人鉄蕉会 亀田総合病院のKタワーの1階にある。がん相談支援センター、難病相談支援センター、居宅介護支援事業所、亀田ホームケアサービス鴨川が同じフロアに在籍している。



ドアを開けると、ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、退院支援ナース、訪問看護師、栄養士、PT、OT、住診医、事務職員、ホームヘルパー等々・・・多職種が活気に活動している。各事業所が同一フロアという事で円滑に連携がとりやすい。利用者様のニーズを満たすために、必要時にカンファレンスを持ち、質の高いケアを提供し継続出来るというメリットがある。その他にも当センターのメリットがある。それは、何気ない日常の中に学びが多い事。

ある日の午後、訪問を終えてパソコンに向かっている時、男性ソーシャルワーカーの電話のやり取りが耳に入ってきた。どうやら、電話の相手は、テレビを観ていたところ、自分が責められている気持ちになり辛いと訴えている様子。どう解決するのか？気になった。声色優しく、相手の言葉を反復、同調・・・と常に相手の話を傾聴し30分程経った頃に相手が落ち着いて来た様子が伝わってきた。「私に話してくれてありがとう」、「いま、あなたが休める場所がありますか？」と最後まで優しく、相手を労う姿勢に私の方も癒やされた。



私が担当しているALSのN氏は、意思の疎通が不可能な状態である。ケアの最中に、常にN氏の状態を気遣いながら、終始明るく話しかけるヘルパーさん、N氏の表情がとても豊かに見え、ヘルパーさんの一語一語に、応えている様子にも見える。何よりも普段、無口な妻の方も言葉が弾んで嬉しそうである。ヘルパーさんの、思いやりの心と持ち前の明るさがN氏と家族の心を明るくしている。大きな力だと思った。

在宅療養生活を支援するにあたり、多職種間との連携は必要不可欠である。関わりの中で学ぶ事が多い。利用者さんの状況に応じて、お互いに、足りない部分を補い合い、感謝の心を持つことが、互いのモチベーションを高めることにもつながっていると思う。

2年前、看護協会主催の訪問看護師養成研修を受講しながらのスタートだった。今でも、色々な場面で、ご指導下さった講師の言葉を思い出し、現実と結びついて納得出来たり、道標となっており、受講してよかったと実感している。しかし、つい自分の信条や人生観で、相手の状況を判断してしまい、迷惑を掛けたり、反省する事も多々ある。

その度に、たくさんの人々に助けられたからこそ今の自分がある。

これまで、利用者様を含めてたくさんの人との出会いがあった。出会った数だけ喜怒哀楽があり、全て貴重な経験であった。人との関わりに於いては、いかなる場合も思いやりが大事だなあとつくづく感じる。誰に対しても、思いやりの心を持って接する事。努力目標にしたい。

訪問車の中から、ふと道路脇の塀の大きな文字が目に入った。

「思いやる心がつなく笑顔の輪」・・・まさにその通り！
ポカポカ春の陽気に車の窓を開けた。海風が優しい・・・本日も快走！ワゴンR。



印旛・山武地区

松尾訪問看護ステーション 土屋 千夏子

みなさんに感謝です。

何も分からない私が、みなさんに支えられて地区部会の会長を2年間やらせていただきました。ドキドキの2年でした。

初めて所長会議に参加した時は右も左も分からず緊張のしまくりで、でも参加するたびに顔を覚えてもらい、声をかけてもらい、話しが出来るようになりました。会議中、日本語を話しているのかなあと思う事が多々あり、まあ私の勉強不足である事は確かですが、その中に居る事が楽しくホッと出来るようになりました。そして、副会長を経て会長となり、あっという間に2年が経ちました。

会長をしていて良かった事は、研修会内容により講師依頼する際、訪問看護以外の視野を広められた事でした。講師依頼をする事は大変でしたが、今思うととても勉強になりました。

嫌な事は・・・。



また、一番の悩みは参加するステーションがほぼ固定されてきている事でした。確かに、全ステーションが集まる事は困難なことだと思います。管理者も職員の1人で訪問があり、利用者の方々が待っています。でも出席の連絡や、意見等を知らせてくれる事で、「あっ、気にしていただいているんだ。考えてくれているんだ～」と思うことができました。なので、せめて連絡だけでも欲しいなと思いました。

香取・海匝地区

銚子訪問看護ステーションNEW



こんにちは。
銚子訪問看護ステーションNEWです。

平成20年7月1日にオープンしたばかりのヨチヨチ歩きです。

でも、私達のお母さんは、平成17年11月に「NPO法人精神保健福祉を支える会NEW」として設立しており、それが大きな支えとなっています。法人としては、精神障害者作業所・グループホームに次いで今回3番目に当訪問看護ステーションが誕生したわけです。

私達は現在（平成21年2月末）看護師4名（内非常勤1名）保健師1名（非常勤）の体制です。スタッフを紹介します。

Aさん：当ステーションの管理者です。

看護師経験30年以上（内精神科経験18年）のベテランさんです。非常に真面目で働きすぎて時々腰痛で苦しんでいます。趣味は、音楽鑑賞・トールペイント。

Bさん：看護師経験37年の内25年の精神科歴を持ち、しかも病院での訪問看護の経験がある当ステーションにとってはなくてはならない存在。

スタッフ間の潤滑油のような役割をはたしてくれています。趣味は、ドライブ・音楽鑑賞。

Cさん：当ステーションの若手のホープ（20代）。精神の訪問看護は初めてとっていますが、対象者はもちろん、多くの関係者から信頼されています。趣味は、お酒とおいしいものの食べ歩き。

Dさん：当ステーションただ一人の男性。精神科経験歴40年以上の超ベテランです。男性の対象者が多いので貴重な存在です。趣味は、登山・畑での野菜作り。

Eさん：スタッフの平均年齢を一人でひきあげています。

保健所保健師として精神障害者の支援に力を注いできたので、集大成のつもりでやっています。趣味は、花いじり（ガーデニングまではいきません）。



当ステーションの大きな特徴は、精神障害者を対象としていることです。

心の病や障害を持っている人が、その人らしく地域社会において自立した生活が送れるようになるためにはどうしたらよいか、本人・家族とともに考えながら支援することを目指しています。

ご承知のとおり、銚子市立病院が、昨年9月末で閉鎖され、一時はどうなってしまうか心配しましたが、県や千葉大のご協力により精神科部門は10月1日より「銚子精神科診療所」として引き続いて診療が開始されています。私達も新たな気持ちで診療所の担当医、及び関係者との連携を密に励んでおります。また、銚子市だけでなく近隣の精神科病院からの依頼もあります。常に保健・医療・福祉関係者との連携を心掛け、あくまでも住み慣れた家での暮らしができるよう、訪問看護をすすめています。

銚子市は昭和38年に全国に先駆けて「精神衛生宣言都市」をしています。長い歴史と実績が地盤にあります。この大きな特徴を活かし、銚子地域に必要なステーションとなるようこれからも母体間の伴を強くし頑張っていきたいと主っています。



ステーション外観

東葛南部地区

なごみ訪問看護ステーション
荒木 桂子



初めまして、なごみ訪問看護ステーションです。

開設して7年になります。地域の皆様に支えられ・励まされながら続けてきました。市内（浦安市）で唯一の民間ステーションで24時間稼働しています。

昨年からは、なごみは地域連携のパイプを強くし、様々なケースにも対応できる事業所となるため、市内の事業所の方々と共に定期的な勉強会を開催しています。

勉強会の内容は、医療・介護・福祉用具等で、各サービス提供事業者の専門職に講師となっていたきこの会を開催しています。型にはまらない自由な楽しい勉強会です。興味のある方は是非参加してください。地域を問わず参加OKです。

♪ちよっとひと息♪
さくらギャラリー



千葉市地区

鎌取訪問看護ステーション
小宮山 日登美

「ぴんぴんころり」の後

「ぴんぴんころり」という言葉を聞いたことがありますか。ぴんぴんと生活して、亡くなる時はころりと逝きましょう、との意だそうです。私がこの言葉を知ったのはもう何年も前になります。「なるほどな、そう逝けたらいいものだな。」と漠然と思ったのを記憶しています。

訪問看護の仕事をはじめから、その思いは変わらず持っていました。できるだけ小康状態を保ち、具合が悪くなったと思ったら、あっという間に逝ってしまう。ご本人にも、ご家族にも負担が少ない。

しかし最近「ぴんぴんころり」で検死が入り、それも如何なものかという出来事がありました。そして、これを支えるにはどのような体制が必要なのか考えさせられました。

ひとつは民生委員さんのつぶやきでした。

あるご家庭の御年寄りが急逝したそうです。慢性的な疾患もなくADLも自立された方で、定期的に医療機関に係る事はなく過ごされていました。ある時呼吸が止まっていて、結果、警察が介入し検死となったとの事です。

もうひとつは訪問看護が入り始めてまもなくの方が亡くなられた症例です。やはり医療や介護の介入はなく過ごされてきた方でした。著明な苦痛症状を訴えることなく臥床時間が多くなり、褥瘡形成し地域の中核病院に受診、皮膚軟膏処置を指導されていました。

介護保険の申請、福祉用具の調整、訪問看護の導入をほぼ同時に行い、次回の受診時に訪問診療の相談との運びになっていましたがそれを待たずに逝かれました。ご家族が外出から戻った際に呼吸停止に気がつき、救急隊や受診病院とのやり取りの末、検死となりました。

警察は事件性の有無を調査しますので、当然第一発見者には詳細に質問をし、証拠となる物や証言を積み重ねていかなければなりません。家族の心身の疲労はもとより、訪問看護師も自分のケアや調整に不手際がなかったか自問自答し重い負担がかかります。また調査中は拘束されますので経営面でも影響が出ます。

後者は一言で言えば準備が間に合わなかったといえるのかもしれませんが。短い期間で生活や栄養の評価をし、身体状態の下降線を把握しなければいけないのでしょうか。予約より早めの受診が望ましいと思っても病院で受け入れ困難だったり、訪問診療に移行する際も(家族又は在宅関係者が訪問診療医を探す事が多いので)不安定な状態で依頼するのに躊躇したりと悩む事が多々あります。病院と地域医療機関の連携が進めば主治医の移行もしやすいのでしょうか。

看護師の連携は、千葉市の中核病院医療連携室の方々と千葉県訪問看護ステーション連絡協議会千葉市地区部会で新年会を兼ねた会議を開催する等少しずつではありますが進みつつあります。開催後は顔が見える連携となり、連絡を取りやすくなったと実感しています。

他の地域はどのような連携をされているのか是非会報で教えていただきたいと思ひます。

訪問看護ステーションも何年か経つと、この様な症例が積み重なってくる事と思ひます。訪問看護師が行う、連絡調整業務や訪問看護に伴う立会い等も、診療報酬や介護報酬上で評価されるようになってもらいたいものです。それも医療費増加を抑制しているといえるでしょう。

「ぴんぴんころり」が医療費増加の抑制のスローガンとしたら、現在はその概念に近いのは「ぴんぴん、少し病氣してころり」でしょうか。



今回『菜の花』の表紙を飾ったのは、村田尚美さんの絵画です。とってもきれいな色合い。不思議な魅力溢れる素敵な絵ですよね。どんな方が描いたのでしょうか？作者のプロフィールをご紹介します！

村田尚美さん プロフィール



1972（昭和47）年 千葉市に生まれる

1988（昭和63）年 中学卒業

療育手帳取得

鎌取作業所 10年間通所（作業内容：牛乳パックを再利用したはがき作り）

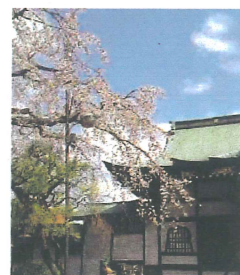
ワークホーム「ゆき」を経て、ワークホーム「花の輪」に通所。

調理やレクリエーション、生花教室など行事に参加する他、絵画の制作に挑戦。

独特な画風の絵を制作する。

2008（平成20）年10月 絵画展開催

編集後記



春は桜の季節ですが、すっかり緑鮮やかな葉桜になってしまいました。今年は桜前線の進み方が例年と違い、予想がはずれてつぼみのお花見をした方もいたのでは？

ところで左の何やら趣のある写真。京都？いえいえ、なんと行徳のお寺の桜です。あとほんの数キロ進めば浦安市といった場所です。身近なところに意外なお花見スポットであるんですね。訪問のついでにパチリ★



さて、新年度が始まりました。今年度も皆様と一緒に広報『菜の花』の編集に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想・ペット自慢・ちょっとした写真 etc・・・『菜の花』へのみなさんの投稿を引き続きお待ちしております。

広報『菜の花』ですから、最後はやっぱり菜の花で締めくくることにいたしましょう。菜の花の写真もどうぞお寄せください！！

成田ゆめ牧場の菜の花



千葉県
訪問看護ステーション
連絡協議会 広報

菜の花 投稿用紙

会員参加型の会報誌を目指しています。どのような記事でもかまいませんので、お気軽に広報担当までお寄せください。郵送でもFAXでも受け付けています。

〒272-0135 千葉県市川市日之出17-9アルテ1F 訪問看護ステーションゆうこう(広報担当宛)
TEL 047-397-7600 FAX 047-397-7601



次号もお楽しみに・・・